

(2) 令和3年度地域包括支援センター活動実績及び収支決算書について

(3) 令和4年度地域包括支援センター実施計画及び収支予算書について

- 令和3年度地域包括支援センター活動実績 . . . . P 1～3
- 介護予防（要支援者・事業対象者）ケアマネジメント委託状況 . . . . P 4
- 各地域包括支援センターの活動実績と計画について . . . . P 5～20
- 米子市自立支援型地域ケア会議について . . . . P 21
- 令和3年度米子市地域包括支援センター 収支決算  
令和4年度米子市地域包括支援センター 収支予算 . . . . P 22

### 令和3年度地域包括支援センター活動実績

センター名	介護予防ケアマネジメント件数		地域におけるネットワーク構築		実態把握件数 (新規把握者実人数)	総合相談受付件数		包括的・継続的ケアマネジメント件数				介護予防教室等		地域活動(サロン)支援活動 (延人数)
	予防給付ケアマネジメント件数 (年度末時点)	総合事業ケアマネジメント件数 (年度末時点)	ネットワーク構築 実務(延件数) ※1	保険サービス、 その他福祉に関する こと等(延 件数)		包括的・継続的 ケア体制の構築 業務 ※2	※2のうち地域 ケア個別会議	※2のうち地域 ケア推進会議	ケアマネ支援 会・研修等)	回数	延人数	回数	延人数	
ふれあいの里	255	144	27	8,913	16	723	(9)	(5)	31	2	141	21		
義方・湊山	252	138	104	7,504	20	591	(3)	(2)	100	3	212	236		
住吉・加茂	280	85	148	4,809	48	650	(4)	(6)	56	3	211	295		
弓浜	128	134	178	5,607	21	460	(18)	(4)	464	2	149	182		
尚徳	101	71	319	5,770	70	480	(6)	(8)	352	2	185	233		
箕蚊屋	76	70	41	8,028	20	318	(9)	(2)	108	10	203	138		
淀江	1,501	909	1,114	77,001	302	4,792	(78)	(53)	1,824	114	2,135	1,380		
合計														

### (参考) 令和2年度地域包括支援センター活動実績

センター名	介護予防ケアマネジメント件数		地域におけるネットワーク構築		実態把握件数 (新規把握者実人数)	総合相談受付件数		包括的・継続的ケアマネジメント件数				介護予防教室等		地域活動(サロン)支援活動 (延人数)
	予防給付ケアマネジメント件数 (年度末時点)	総合事業ケアマネジメント件数 (年度末時点)	ネットワーク構築 実務(延件数) ※1	保険サービス、 その他福祉に関する こと等(延 件数)		包括的・継続的 ケア体制の構築 業務 ※2	※2のうち地域 ケア個別会議	※2のうち地域 ケア推進会議	ケアマネ支援 会・研修等)	回数	延人数	回数	延人数	
ふれあいの里	243	154	16	8,860	3	691	(10)	(1)	12	0	156	32		
義方・湊山	256	128	152	7,967	40	604	(8)	(4)	115	1	169	196		
住吉・加茂	279	81	92	5,299	94	631	(18)	(7)	136	1	153	306		
弓浜	126	115	137	5,138	11	442	(3)	(10)	153	1	40	85		
尚徳	92	85	325	5,608	146	532	(1)	(12)	321	4	126	142		
箕蚊屋	88	88	54	4,678	11	335	(6)	(1)	70	5	150	162		
淀江	1,446	932	1,106	72,519	548	4,599	(75)	(47)	1,511	111	1,399	1,105		
合計														

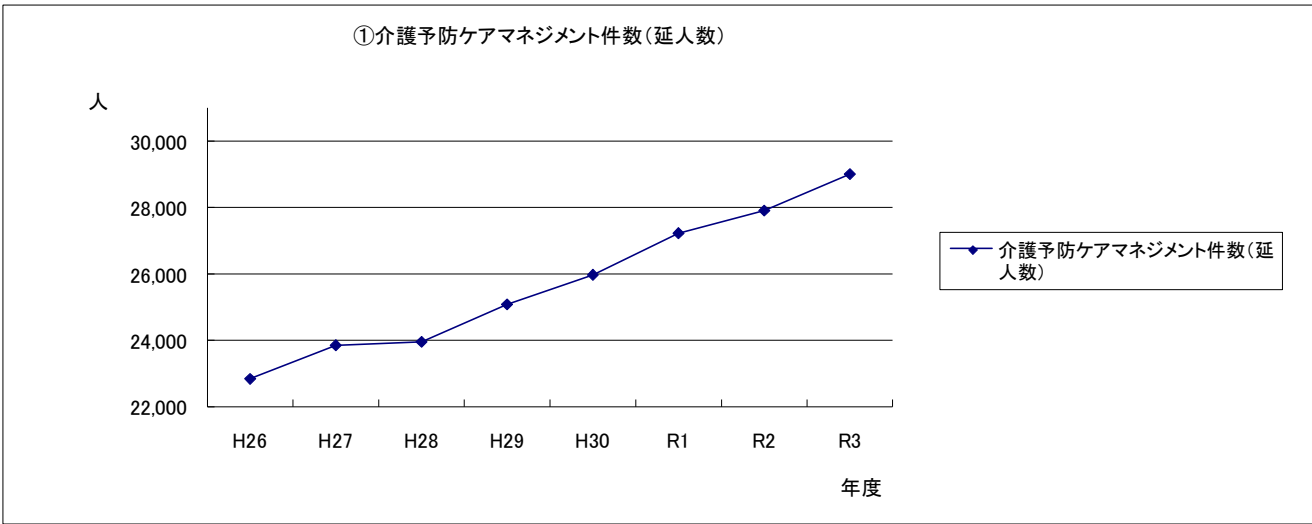
#### 【項目の説明】

※1 地域におけるネットワーク構築業務・・・

地域の社会資源やニーズの把握に関する活動、地域におけるネットワークの構築に関する活動、地域住民への啓発活動、高齢者虐待防止ネットワークの構築に関する活動を計上。

※2 包括的・継続的ケア体制の構築業務・・・

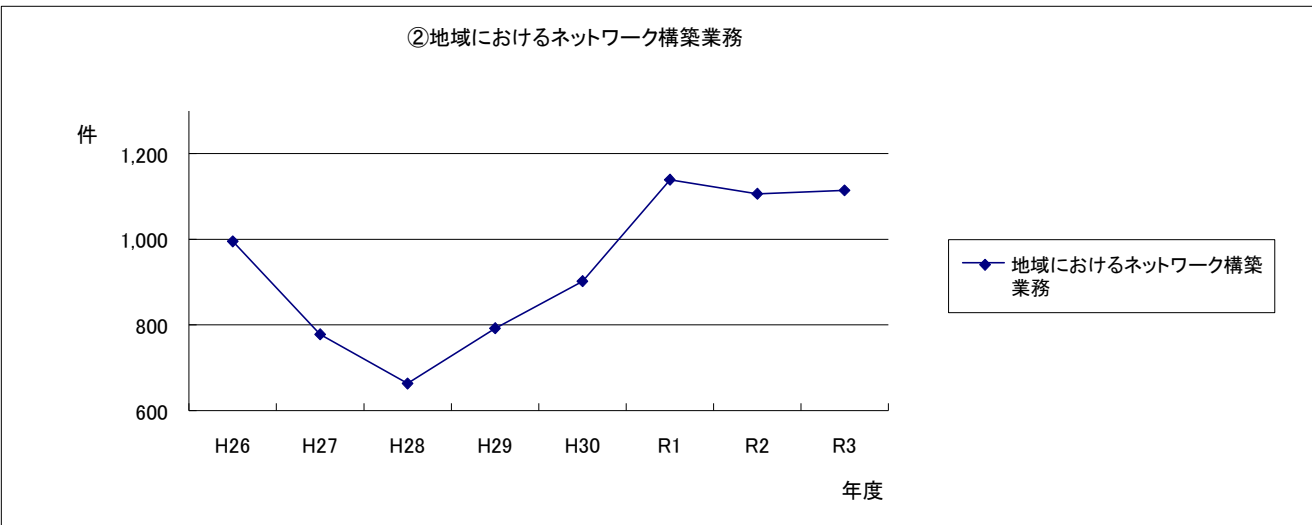
地域ケア会議の開催、医療機関その他関係機関との連携体制づくりに関する会議の開催、地域のインフォーマルサービスとの連携体制づくりに関する会議の開催、サービス担当者会議・ケアカンファレンスの開催、入院(所)・退院(所)時の連携を計上。



①介護予防ケアマネジメント件数(延人数)	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
	22,837	23,847	23,955	25,083	25,969	27,221	27,905	29,002

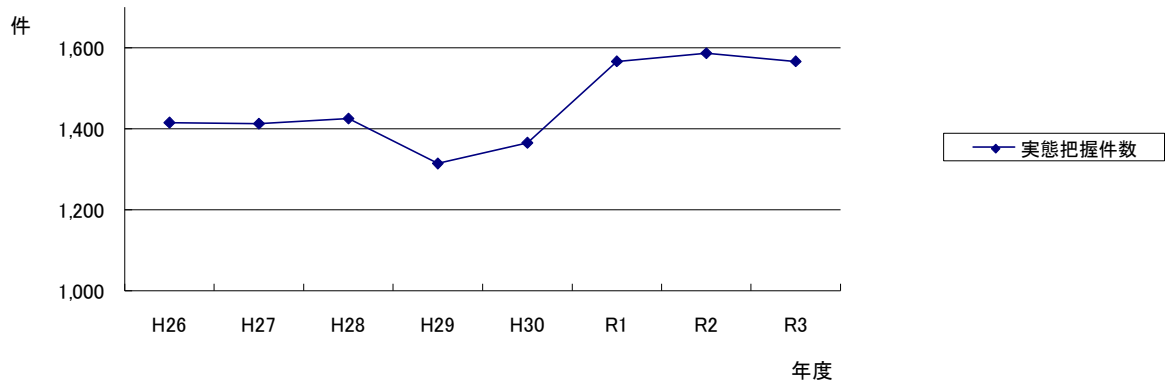
※H26・27年度の件数には、全体のケアマネジメント実施件数を比較するため、H28年度から総合事業に移行した次の「二次予防事業対象者」に対するケアマネジメント件数を含めている。

二次予防事業対象者ケアマネジメント件数(延人数)	H26	H27
	1,219	2,064



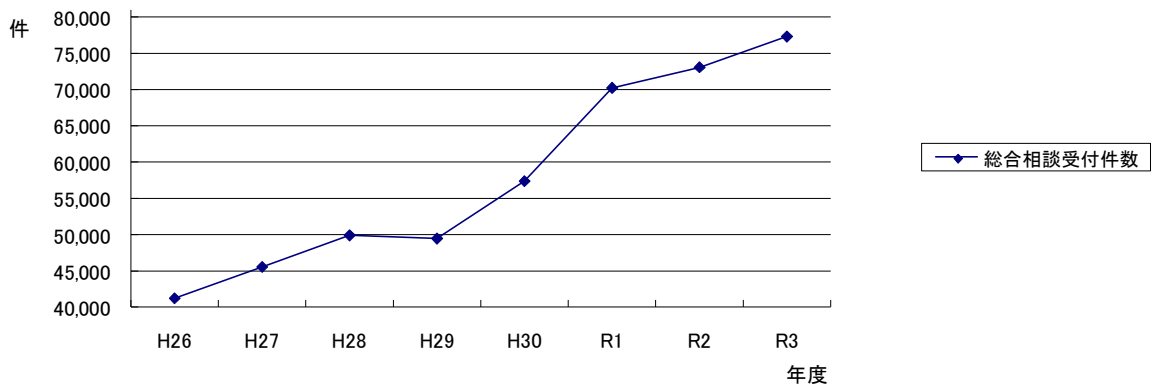
②地域におけるネットワーク構築業務	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
	995	778	663	792	902	1,139	1,106	1,114

③実態把握件数



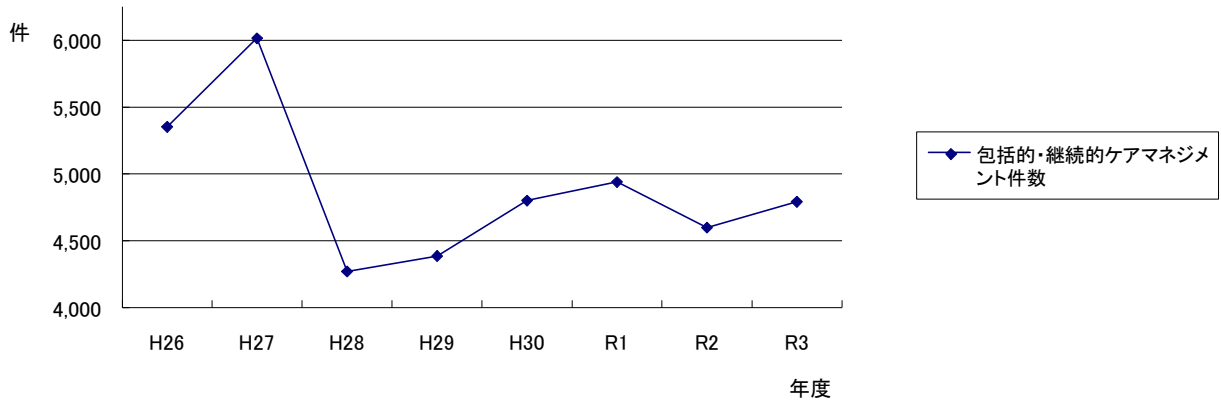
③実態把握件数	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
		1,415	1,412	1,425	1,314	1,365	1,566	1,586

④総合相談受付件数



④総合相談受付件数	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
		41,204	45,539	49,886	49,452	57,371	70,242	73,067

⑤包括的・継続的ケアマネジメント件数



⑤包括的・継続的ケアマネジメント件数	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
		5,352	6,015	4,272	4,387	4,801	4,940	4,599

介護予防（予防給付・総合事業）ケアマネジメント委託状況

令和3年度

○予防給付ケアマネジメント

センター名	ケアマネジメント延件数	ケアマネジメント委託件数	委託率
ふれあいの里	4,703	722	15.4%
義方・湊山	2,995	700	23.4%
住吉・加茂	3,076	664	21.6%
弓浜	3,312	895	27.0%
尚徳	1,588	82	5.2%
箕蚊屋	1,186	69	5.8%
淀江	968	114	11.8%
合計	17,828	3,246	
平均			18.2%

○総合事業ケアマネジメント

ケアマネジメント延件数	ケアマネジメント委託件数	委託率
3,367	185	5.5%
1,818	357	19.6%
1,643	216	13.1%
1,019	246	24.1%
1,504	1	0.1%
909	0	0.0%
914	22	2.4%
11,174	1,027	
		9.2%

【参考】令和2年度

○予防給付ケアマネジメント

センター名	ケアマネジメント延件数	ケアマネジメント委託件数	委託率
ふれあいの里	4,161	821	19.7%
義方・湊山	3,005	898	29.9%
住吉・加茂	2,962	482	16.3%
弓浜	3,308	778	23.5%
尚徳	1,516	87	5.7%
箕蚊屋	1,023	71	6.9%
淀江	915	121	13.2%
合計	16,890	3,258	
平均			19.3%

○総合事業ケアマネジメント

ケアマネジメント延件数	ケアマネジメント委託件数	委託率
3,366	227	6.7%
1,845	377	20.4%
1,667	147	8.8%
1,037	238	23.0%
1,085	11	1.0%
1,076	0	0.0%
939	33	3.5%
11,015	1,033	
		9.4%

## 各地域包括支援センターの活動実績と計画について

### ふれあいの里 地域包括支援センター

#### 【 圏域の状況（令和4年4月1日時点） 】

人口	45,338 人
高齢者数	10,825 人
高齢化率	23.9 %
要介護・要支援認定者数	2,348 人
認定率	21.7 %
職員配置数（基準職員配置数）	18 人（11 人）

#### 【 令和3年度の活動実績及び令和4年度の設定目標 】

	令和3年度（実績値）	令和4年度（計画値）
予防給付ケアマネジメント件数 （実人数）	515 人	520 人
総合事業ケアマネジメント件数 （実人数）	440 人	450 人
実態把握件数 （新規把握者実人数）	643 人	650 人
居宅介護支援事業所連絡会開催件数	9 回	9 回
地域ケア個別会議開催件数	29 回	—
地域ケア推進会議開催件数	26 回	40 回

## 【 地域ケア会議の取り組み状況について 】

<令和3年度（実績）>

### 地域ケア個別会議

個別会議について、精神疾患と認知症の診断のある利用者で親族がいない、または関わりを拒否するケースでは複数回の開催を要している。様々な機関と協議のうえ、成年後見制度の利用により権利擁護につながる活動ができた。

### 地域ケア推進会議

各地区で地域住民が取組む地域づくりに関する会議に参加した。令和3年度は、地域支援ネットワークの構築・インフォーマル資源との連携づくりに取り組んできた。特に全地区で、民生委員、薬剤師、居宅支援事業所との連絡会を開催したことは、地域活動において高評価をいただいた。また、コロナ禍により入退院支援において情報共有が困難となり、市内の基幹病院の連携担当者との意見交換の場を設けた。

#### 【啓成地区】

第2次地域福祉活動計画策定に向け、地域福祉推進委員会に参加した。

#### 【車尾地区】

わがまち支え愛連絡会の継続支援を行い、見守りネットワーク、地域の要援護者の把握、情報提供を行った。

#### 【福生東地区】

地域福祉推進委員会、地域福祉推進委員第3部会、10区和み会世話人会などに出席し地域活動について協議した。地域福祉活動計画に基づき、健康・生きがいがづくりの一環としてウォーキング大会、高齢者外出支援として遺跡散策、城山ウォーキングなどに参加した。10区出張相談会はコロナのため延期となった。

#### 【福生西地区】

地域福祉活動計画高齢者福祉分科会に参加し、地域課題の把握、サロン活動の支援、健康寿命アップのための取組を行った。また、皆生交番と民生委員との情報交換会を行い、それぞれの役割について確認することができた。

#### 【福米地区】

「ふくよね在宅ケア連携の会」はオンラインを活用し開催することができた。医療関係者、福祉関係者と意見交換などができる機会が持て、以前よりもスムーズな連携が行えるようになった。コロナ禍においても多職種での会議を継続することで連携の必要性の再確認ができた。

<令和4年度（計画）>

#### 地域ケア個別会議

総合相談支援センターにいただく様々な相談にえしこに（※）対応できるように、相談者の権利擁護を一番に多機関と協議し、支援ネットワークづくりのための会議を開催していきたい。

※えしこに：「いい具合に…」という米子の方言。（ふれあいの里総合相談支援センターの愛称）

#### 地域ケア推進会議

各地区で進められている地域福祉活動計画やまちづくり推進会議などに委員として参加し、地域づくりや地域課題解決に向けた協議に参加していく。また、医療介護連携の取組として、ふくよね在宅ケア連携の会に続き、ふくいけ在宅ケア連携の会を新規に開催する計画をしている。

##### **【啓成地区】**

第2次地域福祉活動計画策定委員会の分科会に参加し、地域の現状と課題を整理し、計画策定に取り組んでいく。

##### **【車尾地区】**

わがまち支え愛連絡会の継続支援を行い、地域課題の把握、要援護者の実態把握、ネットワークの構築を進める。また、今年度から取り組まれる車尾まちづくり推進会議に参加し、住民主体の活動、体制構築について協議していく。

##### **【福生東地区】**

地域福祉推進委員会、各部会などに出席し、地域課題の検討と課題解決に向けての取組を行う。公民館、地域活動団体が協力しながら活動できるよう支援する。10区出張相談会は地域の居宅介護支援事業所、小規模多機能型居宅介護、健康対策課、社会福祉協議会と協議・連携して進めていく。

##### **【福生西地区】**

令和4年度から、地域福祉活動計画の二次計画策定の準備委員会が立ち上がり、引き続き参加していく。また、昨年に続き皆生交番と民生委員と地域支援ネットワークの構築のために情報交換会を開催し、連携を強化していきたい。

##### **【福米地区】**

「ふくよね在宅ケア連携の会」の開催を継続し、医療と福祉の関係機関との連携を図り、専門職の視点から地域ケア推進会議を進めていく。



## 義方・湊山 地域包括支援センター

### 【 圏域の状況（令和4年4月1日時点） 】

人口	21,123 人
高齢者数	6,664 人
高齢化率	31.5 %
要介護・要支援認定者数	1,496 人
認定率	22.4 %
職員配置数（基準職員配置数）	8 人（7 人）

### 【 令和3年度の活動実績及び令和4年度の設定目標 】

	令和3年度（実績値）	令和4年度（計画値）
予防給付ケアマネジメント件数 （実人数）	255 人	250 人
総合事業ケアマネジメント件数 （実人数）	144 人	200 人
実態把握件数 （新規把握者実人数）	173 人	250 人
居宅介護支援事業所連絡会開催件数	2 回	3 回
地域ケア個別会議開催件数	9 回	—
地域ケア推進会議開催件数	5 回	4 回

### 【 地域ケア会議の取り組み状況について 】

< 令和3年度（実績） >

#### 地域ケア個別会議

生活困窮、身寄りがいない、セルフネグレクト、同居家族自身も病気・障がい・未就労など世帯全体に複数の課題を持つケースについて、行政・病院・地域等と連携し協議を行った。処遇困難ケースにおいては、地域の方が戸惑いを感じていることが多いが、当事者達の抱える課題について理解していただくために、地域役員からご近所の方に説明等対応をして頂いた。会議開催のみでは解決することができず、伴走的な支援が中心となっている。

家族関係が希薄な方が増えており、親族の所在がわからない方も多く、また、身寄りのない方の親族探しに苦慮している。処遇困難ケースの対応における責任の所在について各関係機関担当者は負担を感じており、会議を通じて責任の分散を図っている。

#### 地域ケア推進会議

コロナ禍で多人数の会議を開催することが困難なため、地域ケア会議個別会議での開催が中心であった。各団体の定例会に参加し、顔なじみとなるような関係性の構築を図り、課題の聞き取りを行った。

### 【義方地区】

行政、社会福祉協議会、行政書士、観光関係者、障がい福祉サービス関係者、包括職員等の多機関多職種にて、現在の状況や課題の整理を行った。コロナ感染拡大による会の中止や不参加が続いた。買い物難民に対する支援について、観光の分野との連携ができないかを協議した。

本人が施設入所したことを地域に伝えない家族が多く、敬老会の時期は自治会長や民生委員等と連携し、本人の所在を確認している。また、生活保護世帯、自治会未加入者が多いエリアでもある。

### 【明道地区・就将地区】

地区全体での地域ケア推進会議は未開催であった。健康対策課地区保健師と連携し、各団体の協議会に参加し情報共有を行っている。

## <令和4年度（計画）>

### 地域ケア個別会議

市中心部のため、生活歴・家族構成を地域が把握できていない方が増えている。生活保護世帯が集中している地域があり、アパートの大家・地域役員は実態が分からず困っている。世帯全体で複数課題を抱えているケースも多く、課題を整理しながら、行政、病院、地域、障がい福祉・介護保険サービス事業者等と連携を図る会議を開催したい。

### 地域ケア推進会議

各団体からの意見、課題を整理・抽出していく。共通する課題について確認し、新型コロナウイルス感染状況をみながら、団体同士の連携を図る会議や代表者での会議を企画する。

### 【義方地区】

各団体の定例会に参加し、地域から、相談窓口が多く違いがわからないとの意見があった。令和4年度は、総合相談支援センター、社会福祉協議会、健康対策課地区保健師、包括支援センター合同で定例会等へ参加し、挨拶まわりを行う。また、毎月義方地区の関係機関が集まり、進捗及び課題について情報共有を行い、各分野において、共通する課題を整理する。

### 【明道地区】

昨年と同様、健康対策課地区保健師と同行し、各団体の定例会に参加する。地域の役員同士がすでに情報共有し訪問活動を行っており、既存のネットワークに地区保健師、包括支援センターが今後どう介入していくかが課題となるが、まずは、既存のネットワークが抱えている課題を確認する。

### 【就将地区】

昨年と同様、健康対策課地区保健師と同行し、各団体の定例会に参加する。就将地区は街中のエリアと農家中心のエリアに分かれ、住民の生活スタイルが異なる。このニーズの差も踏まえて、今後課題を整理する。また、民生委員から要望のあった地域資源及び介護保険制度について勉強会を計画している。

## 住吉・加茂 地域包括支援センター

### 【 圏域の状況（令和4年4月1日時点） 】

人口	25,483 人
高齢者数	6,980 人
高齢化率	27.4 %
要介護・要支援認定者数	1,439 人
認定率	20.6 %
職員配置数（基準職員配置数）	7 人（7 人）

### 【 令和3年度の活動実績及び令和4年度の設定目標 】

	令和3年度（実績値）	令和4年度（計画値）
予防給付ケアマネジメント件数 （実人数）	325 人	250 人
総合事業ケアマネジメント件数 （実人数）	176 人	250 人
実態把握件数 （新規把握者実人数）	127 人	100 人
居宅介護支援事業所連絡会開催件数	2 回	4 回
地域ケア個別会議開催件数	3 回	—
地域ケア推進会議開催件数	2 回	6 回

### 【 地域ケア会議の取り組み状況について 】

< 令和3年度（実績） >

#### 地域ケア個別会議

各地区ともに、認知症を有する独居・高齢世帯の方が近隣とトラブルを起こすケースが増えている。また、そのような世帯は身寄りがない、親類縁者からの支援が望めないといった、介護力不足や経済的にも困窮しているケースが少なくない。個別会議を通して改めて、地域の中での見守りや支えあいといったインフォーマルな支援の必要性を参加者の共通認識として持つことができた。

#### 地域ケア推進会議

コロナ禍の感染拡大に伴い、地域内での活動の場が次々に閉鎖となる中で、地域住民がお互いの様子が確認できない状況が続いた。民生委員や在宅福祉員が活動を自粛される中での、包括支援センターの役割及び地域との連携強化について検討を行った。

#### 【住吉地区】

コロナ禍における、他者との交流の機会や場所を失ったことによる影響について検討した。高齢者に限った話ではないが、コロナ禍における孤独死についても話題に上った。

#### 【加茂地区】

地域福祉活動計画実施に向け、地区高齢者部会に参加し、活動支援を行った。

#### 【河崎地区】

認知症だけでなく、精神疾患を抱えながら地域で生活している方も多いことから、専門医療機関の相談員にも参加していただき、対応や通院支援などについての情報共有が図れた。

<令和4年度（計画）>

#### 地域ケア個別会議

課題が重複するケースが増えてきており、介護分野の支援だけでは解決できないケースでは、障がい、こども分野からも出席を募り、多職種協働を実践していく。

#### 地域ケア推進会議

総合相談に向けて、高齢・障害・こども分野だけでは対応しきれない、挟間の問題等に対して地域で支えるしくみの実現に向けて検討していく。

#### 【住吉地区・河崎地区】

地域における総合相談（重層的）支援体制づくりに向け、地区社協（在宅福祉委員）、民生委員、自治会長、障がい者相談支援事業所等の参加を予定している。

#### 【加茂地区】

地域福祉活動計画の実行として、在宅、民生、自治会の連携の強化や地区内のサロン増加などについて協議する。地区社協（在宅福祉委員）、民生委員、自治会長等の参加を予定している。

## 弓浜 地域包括支援センター

### 【 圏域の状況（令和4年4月1日時点） 】

人口	21,282 人
高齢者数	7,332 人
高齢化率	34.5 %
要介護・要支援認定者数	1427 人
認定率	19.5 %
職員配置数（基準職員配置数）	8 人（8 人）

### 【 令和3年度の活動実績及び令和4年度の設定目標 】

	令和3年度（実績値）	令和4年度（計画値）
予防給付ケアマネジメント件数 （実人数）	360 人	320 人
総合事業ケアマネジメント件数 （実人数）	118 人	150 人
実態把握件数 （新規把握者実人数）	231 人	250 人
居宅介護支援事業所連絡会開催件数	2 回	4 回
地域ケア個別会議開催件数	4 回	—
地域ケア推進会議開催件数	6 回	20 回

### 【 地域ケア会議の取り組み状況について 】

< 令和3年度（実績） >

#### 地域ケア個別会議

関係機関からの相談時など随時開催できるように調整を行っている。ケースとしては認知機能低下に伴う行方不明に関するケース、親族が近くにおらず住民が支援を行うケースなどがあった。地域ケア個別会議を通じて、関わる住民の相談先を明確にすること、役割の明確化、近隣住民の方からの理解を得ることにつながることができた。

#### 地域ケア推進会議

継続開催できている地区に関しては感染状況に配慮し、開催の可否・開催方法について、開催の都度、地域の役員と検討した上で開催した。未開催の地区については、地域の役員に対して開催についての提案を継続しているが、コロナ禍に新たな会議の創設に好意的ではない地区もあり、開催には至っていない。開催を提案する際の情報提供に必要となる、地区課題の抽出を進めていく必要がある。

#### 【和田地区】

2ヶ月に1回のペースで開催を予定するも、感染予防のため延期することもあった。支え合いマップの更新を継続して行い、マップ更新の時間が各地区の情報交換の時間にもなっており、地域活動に制限がある中において、情報を得る貴重な機会となった。

#### 【富益地区】

3か月に1回の定期開催を予定するも、感染予防のため年度内に計2回の開催となった。サロン活動やショッピングリハビリについて自治会長、在宅福祉員の理解促進を図った。コロナ禍での見守り活動について、短時間でも対面での見守りの必要性等を訴える声が上がった。見守りでのかかわりについては、どこまで介入すべきなのか分からないという不安な声もあった。

<令和4年度（計画）>

#### 地域ケア個別会議

地域ケア個別会議を地域住民、関係機関等と積極的に開催し、地域課題の抽出を行う。地域ケア会議を通して居宅介護支援事業所、サービス事業所、行政、総合相談支援センター等との連携を強化していく。

#### 地域ケア推進会議

定期開催のできている地区については今年度も継続的に開催し内容の充実を図る。未開催の地区では地域の状況に合わせて開催方法を提案する。

また、個別事例を通じて地域別に課題を抽出し、年度末に住民へ情報提供を行う計画としている。地域ケア会議を通じて、関係機関とのネットワークづくりや地域づくりに向けて取り組んでいく。

感染予防については、開催にあたり地域の役員と相談し、体調確認、マスク、換気など予防対策を徹底し開催する。参加については各個人の判断に委ねる。

#### 【和田地区】

支え合いマップについて、地域ケア会議開催の都度、更新を行う。感染状況を踏まえ開催方法検討する。

#### 【富益地区】

見守り体制強化に向けた役員の勉強会と意見交換を行う。感染状況を踏まえ開催方法検討する。

## 尚徳 地域包括支援センター

### 【 圏域の状況（令和4年4月1日時点） 】

人口	11,047 人
高齢者数	4,315 人
高齢化率	39.1 %
要介護・要支援認定者数	761 人
認定率	17.6 %
職員配置数（基準職員配置数）	5 人（5 人）

### 【 令和3年度の活動実績及び令和4年度の設定目標 】

	令和3年度（実績値）	令和4年度（計画値）
予防給付ケアマネジメント件数 （実人数）	164 人	140 人
総合事業ケアマネジメント件数 （実人数）	160 人	130 人
実態把握件数 （新規把握者実人数）	163 人	120 人
居宅介護支援事業所連絡会開催件数	2 回	3 回
地域ケア個別会議開催件数	18 回	—
地域ケア推進会議開催件数	4 回	19 回

### 【 地域ケア会議の取り組み状況について 】

< 令和3年度（実績） >

#### 地域ケア個別会議

ケース全体での共通課題としては①経済面（無年金、少額の年金）、②環境面（ごみ処理できていない等）、③協力面（身寄りがない、家族がいても無縁状態、家族が遠方等）が主なもので、その他には、本人が支援や訪問を拒否していることや障害等により支援が入ることに理解がないことなどがあった。

#### 地域ケア推進会議

コロナ感染拡大予防ため地域全体での地域ケア推進会議の開催が難しく、少人数での開催となった地区もあった。独居高齢者世帯等の見守りや安否確認、緊急連絡先の情報についての検討や、コロナ禍で外出・交流が減少することで身体的にフレイル状態となっている高齢者の支援の検討を自治会・民生委員・在宅福祉員、地区のボランティアとともにいった。

### 【成実地区・五千石地区】

見守り支援を行っている団体組織（民生委員・在宅福祉委員、自治会、近隣住民等）の集まりに参加した。地域ケア個別会議で取り扱ったケース内容について情報共有し、見守り等の近隣住民でできることや、地域の特徴的な地域課題について検討した。

### 【尚徳地区】

民生委員と在宅福祉委員との情報共有を目的とした会議に参加し、地域ケア個別会議で取り扱ったケース内容の情報共有を行い、地域課題について協議した。また、そこで提案された課題（住民が求めている情報が記載されている地域包括支援センターのパンフレットの必要性及び自治会単位での独居、高齢者の把握）について検討した。

### 【永江地区】

永江を考える会では、「いつまでも住み続けられる地域づくり」をテーマとしており、こども・障がい者・高齢者がともに安心して暮らせる永江を目標に掲げ、全住民にアンケートを実施した。その結果から永江地区の課題を抽出し、解決に向けての協議を行った。

### 【五千石地区】

見守り支援を行っている団体（民生委員・在宅福祉委員、自治会、近隣住民等）の部会に参加した。個別ケア会議のケースについて地域の課題を共有し、見守りや隣近所でできることについての協議を行い整理して更なる検討を行うこととしている。

## <令和4年度（計画）>

### 地域ケア個別会議

地域包括ケアシステムを推進する上でかせない会議となっており、地域の医療や介護、福祉に関わる様々な職種を参加者として専門的知識を共有しあいながら支援する。また、専門職だけではなく、地域の関係者にも参加・協力していただくことが必要となる。

課題解決には早急な対応が求められるため、各関係機関との連携体制の構築について、日頃から意識する必要がある。

### 地域ケア推進会議

令和3年度、地域ケア推進会議が計画通りに開催できなかったが、少人数での団体組織の集まりに例年以上に参加できたことが大きな成果となった。これをふまえて、地域の高齢者を身近に見守り支援をしている組織（民生委員在宅福祉委員、自治会、公民館、駐在所等）の集まりに参加し、共通する課題を明確にし、課題の解決や支援のネットワークの構築を図る。

6年目となる「医療・介護・福祉連携ケアカフェ」においては、専門職の視点から、地域包括ケアシステムの充実を図る。

### 【成美地区】

昔ながらのつながりが希薄になっており、地域のつながりを再度構築するためにも、住民自らが我が事として、地域課題に対して取り組む必要がある。

### 【尚徳地区】

各組織の会（民生委員・在宅福祉委員・自治会・駐在・薬局等）に参加し、前年度の取り組みの継続と、抽出された課題に対して、連携して解決に取り組む。



**【永江地区】**

「永江を考える会」では今年度から新たな取り組みに挑戦をする予定があり、地域包括支援センターとしては参加を継続し、引き続き支援をする。

**【五千石】**

防災支援マップ作りに参加し、要援護高齢者の把握につなげる。

## 箕蚊屋 地域包括支援センター

### 【 圏域の状況（令和4年4月1日時点） 】

人口	12,288 人
高齢者数	3,871 人
高齢化率	31.5 %
要介護・要支援認定者数	745 人
認定率	17.6 %
職員配置数（基準職員配置数）	4 人（4 人）

### 【 令和3年度の活動実績及び令和4年度の設定目標 】

	令和3年度（実績値）	令和4年度（計画値）
予防給付ケアマネジメント件数 （実人数）	110 人	150 人
総合事業ケアマネジメント件数 （実人数）	149 人	120 人
実態把握件数 （新規把握者実人数）	139 人	132 人
居宅介護支援事業所連絡会開催件数	3 回	5 回
地域ケア個別会議開催件数	6 回	—
地域ケア推進会議開催件数	8 回	12 回

### 【 地域ケア会議の取り組み状況について 】

< 令和3年度（実績） >

#### 地域ケア個別会議

会議対象者について、認知症高齢者が5件、終末期の独居高齢者が1件であった。認知症高齢者5件のうち2件は虐待関連の課題もあった。

関係者で協議し、支援の方向性、役割分担等が明確になり解決につなげることができた。地域住民（民生委員・自治会長等）との連携が効果的に働き、解決につながったケースが4件あった。

#### 地域ケア推進会議

前年度に続き、地域住民参加の準備会を開催した。地域課題の解決に向け地域ケア会議においてどう検討するかなど、テーマや運営方法について協議し開催につなげた。振返り会を予定していたが、新型コロナウイルスの感染拡大の状況を踏まえ開催を見合わせた。（春日・巖・大高地区）

**【春日地区】** テーマ：「ウイズコロナにおける地域づくり」

コロナ禍において地域活動が低迷する中、どう地域づくりにつなげるかについて考えるため、地域内の医療機関医師による講演と意見交換をおこなった。

**【巖地区】** テーマ：「巖地区における自主防災体制の必要性と課題について」

令和3年度に発足した「巖地区防災対策部」の充実に向け、防災についての理解をより深めるため、先進地区の事例報告、米子市防災安全課の講演および意見交換を行った。

**【大高地区】** テーマ：「大高地区における交通手段の確保について」

公共交通機関が乏しく、高齢者の免許保有率が高いという地域性を有している。有効な交通手段の整備に向け、米子市交通政策課長による講演と意見交換を行った。

**【県地区】**

令和2年度に地域住民対象で実施されたアンケート結果等をもとに、県地区地域福祉推進委員会が開催する「県地区福祉のまちづくりプラン」策定会に地域住民とともに参加した。

<令和4年度（計画）>

地域ケア個別会議

独居・高齢世帯、子どもと高齢者の二世帯など、介護力が乏しい世帯の増加が見られる。地域のネットワークを活用し、引き続き、地域包括支援センターの周知を図っていく。課題の早期解決を目指し、地域ケア個別会議を積極的に行い、必要に応じて重層的支援会議につなげる。

地域ケア推進会議

今年度も例年通り準備会を開催し、地域住民とともに地域課題を踏まえた地域ケア会議のテーマ、運営方法を検討する。それに沿ったかたちで地域ケア会議を開催し、地域内のネットワーク強化、助け合いの地域づくりに向けての前進を図る。その際、地域住民のほか、行政・医療機関・福祉サービス事業所からも参加していただけるよう働きかける。また、会議開催後、新型コロナの感染状況をみながら振り返り会を開催し、地域ケア会議で検討した内容の具現化を図っていく。

**【大高地区】**

7月28日に準備会開催を計画したが、新型コロナ感染拡大につき延期をした。感染状況を見ながら、再度計画し、地域住民と地域ケア会議開催に向け検討をする。

**【春日・巖・県地区】**

新型コロナの感染状況を見ながら、準備会を開催し、地域住民と地域ケア会議開催に向け検討をする。

## 淀江 地域包括支援センター

### 【 圏域の状況（令和4年4月1日時点） 】

人口	9,547 人
高齢者数	2,963 人
高齢化率	31.0 %
要介護・要支援認定者数	606 人
認定率	20.5 %
職員配置数（基準職員配置数）	4 人（3 人）

### 【 令和3年度の活動実績及び令和4年度の設定目標 】

	令和3年度（実績値）	令和4年度（計画値）
予防給付ケアマネジメント件数 （実人数）	119 人	100 人
総合事業ケアマネジメント件数 （実人数）	107 人	100 人
実態把握件数 （新規把握者実人数）	89 人	100 人
居宅介護支援事業所連絡会開催件数	2 回	3 回
地域ケア個別会議開催件数	9 回	—
地域ケア推進会議開催件数	2 回	3 回

### 【 地域ケア会議の取り組み状況について 】

< 令和3年度（実績） >

#### 地域ケア個別会議

主に独居の認知症高齢者で家族との関係が希薄なケースが多かった。ひとつのケースに対して、民生児童委員・自治会・駐在所等の関係機関が複数回の会議に参加することで、関係を深めることができた。

#### 地域ケア推進会議

コロナ禍において、計画通りの開催を行うことが困難な状況であったため、3地区のうち特に地域課題の優先度が高いと考える1地区を対象に、各関係機関と、地域課題に対する共通理解をさらに深めることを目的として開催した。

#### 【宇田川地区】

高齢化率が高く土砂災害の危険度も高いエリアである。「宇田川地区の防災を考える」をテーマに地域関係者を集い開催した。行政担当者・駐在所職員から説明をしていただいた後、意見交換を行い、地域の現状・今後の課題を共有し、どのように解決していくべきかを考える第1歩になったと認識している。

<令和4年度（計画）>

地域ケア個別会議

今後さらに進む高齢化に伴う課題の発生、コロナ禍での認知症高齢者数の増加、複合的課題を抱える事例が増えることなどが予想される。地域で住み続けられるための支援を意識し、特に地域関係者や総合相談支援センターとの連携を図りつつ、開催していく。

地域ケア推進会議

今年度は3地区とも防災に関する住民主体の研修会や話し合いが進められている。防災にかかわる住民主体の取り組み状況を知る機会として、地域のフォーマル機関を中心に会議を開催する予定である。感染状況に応じて、開催時期、開催方法（3地区それぞれで行うか圏域全体で行うか）を検討したい。

## 米子市自立支援型地域ケア会議について

### 1 目的

要支援認定者等の個別事例に対する多職種の専門的な視点に基づく助言を通じて、対象となる高齢者の QOL 向上に向けた生活課題の解決や自立支援の促進、自立に資するケアマネジメントの視点やサービス等の提供に関する知識・技術の習得を図ります。

また、検討する事例を積み重ねることにより、地域に不足する資源といった行政課題の発見・解決策の検討につなげていきます。

### 2 令和3年度の実施内容

#### 第1回

日 時： 8月26日（木） 午後2時30分から午後4時まで

場 所： 米子市立図書館2階 研修室3・4

参加者： 地域包括支援センター（ふれあいの里、住吉・加茂、弓浜）、専門職（医師、薬剤師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士）

検討事例数： 2事例

#### 第2回

日 時： 9月2日（木） 午後1時30分から午後3時まで

場 所： 米子市立図書館2階 多目的研修室

参加者： 地域包括支援センター（義方・湊山、尚徳、箕蚊屋、淀江）、専門職（医師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、栄養士、情報支援員）、介護サービス事業所、アドバイザー（北栄町福祉課 地域包括支援センター長）

検討事例数： 2事例

#### 第3・4回

→新型コロナウイルス感染症の影響により中止

### 3 令和4年度の実施内容（予定）

令和4年度は昨年同様2チームにわけ、各チーム3回ずつ（9月、11月、2月）、計6回の開催を予定しています。先進市町村からのアドバイザーは、3回参加予定です。多職種が協働し、自立支援に対する実践力を高めることを目標に取り組みます。

令和3年度米子市地域包括支援センター 収支決算

(単位：円)

	ふれあいの里	義方・湊山	住吉・加茂	弓浜	尚徳	箕蚊屋	淀江	合計
収入								
運営事業委託料	46,222,400	29,377,600	29,461,600	33,469,800	21,053,200	16,829,000	12,632,800	189,046,400
介護予防委託料	1,638,000	819,000	819,000	1,638,000	1,092,000	1,092,000	819,000	7,917,000
認知症初期集中支援委託料	250,440	162,180	144,200	163,090	82,810	86,450	70,830	960,000
介護報酬等	36,224,330	21,765,360	21,195,950	19,319,959	13,844,180	9,443,290	7,663,724	129,456,793
繰入金・その他	113,476	0	0	110,176	107,976	177,976	109,976	619,580
合計	84,448,646	52,124,140	51,620,750	54,701,025	36,180,166	27,628,716	21,296,330	327,999,773
支出								
人件費	73,445,801	33,000,000	36,383,058	38,089,878	24,700,284	19,206,972	16,836,011	241,662,004
管理費	9,653,436	12,268,000	6,976,464	7,905,625	6,272,395	4,512,510	4,457,158	52,045,588
繰出金等	1,349,409	6,856,140	8,261,228	8,705,522	5,207,487	3,909,234	3,161	34,292,181
合計	84,448,646	52,124,140	51,620,750	54,701,025	36,180,166	27,628,716	21,296,330	327,999,773
備考								

令和4年度米子市地域包括支援センター 収支予算

(単位：円)

	ふれあいの里	義方・湊山	住吉・加茂	弓浜	尚徳	箕蚊屋	淀江	合計
収入								
運営事業委託料		29,257,600	29,281,600	33,421,800	20,937,200	16,781,000	12,624,800	142,304,000
介護予防委託料		819,000	819,000	1,638,000	1,092,000	1,092,000	819,000	6,279,000
認知症初期集中支援委託料		160,300	145,300	164,000	85,100	87,000	70,600	712,300
介護報酬等	33,000,000	21,000,000	19,812,000	18,921,600	13,692,000	9,396,000	8,400,000	91,221,600
繰入金・その他	0	0	0	0	0	175,000	0	175,000
国費・県費・一般財源等	58,856,000							
合計	91,856,000	51,236,900	50,057,900	54,145,400	35,806,300	27,531,000	21,914,400	240,691,900
支出								
人件費	80,765,000	36,964,000	37,264,609	36,325,000	27,600,000	19,682,000	17,101,006	174,936,615
管理費	11,091,000	11,938,000	8,286,600	8,366,800	6,541,200	6,849,000	4,801,000	46,782,600
予備費等	0	2,334,900	4,506,691	9,453,600	1,665,100	1,000,000	12,394	18,972,685
合計	91,856,000	51,236,900	50,057,900	54,145,400	35,806,300	27,531,000	21,914,400	240,691,900
備考	R4から直営							※ふれあいの里分を控除